

平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月4日

上場取引所 大

上場会社名 USEN

コード番号 4842 URL <http://www.usen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 中村 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 小林 陽介

TEL 03-6823-7015

四半期報告書提出予定日 平成25年4月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	33,339	△1.4	4,293	△13.9	3,350	△25.1	2,801	75.0
24年8月期第2四半期	33,825	△13.6	4,987	52.9	4,470	93.8	1,600	332.5

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 2,907百万円 (81.3%) 24年8月期第2四半期 1,603百万円 (356.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	12.80	—
24年8月期第2四半期	6.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第2四半期	70,130	11,608	16.6
24年8月期	73,304	8,700	11.9

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 11,608百万円 24年8月期 8,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	△0.1	8,000	△12.9	6,500	△20.8	4,500	31.5	20.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期2Q	207,148,891 株	24年8月期	207,148,891 株
② 期末自己株式数	25年8月期2Q	1,069,686 株	24年8月期	1,069,522 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期2Q	206,079,308 株	24年8月期2Q	206,079,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足資料の入手方法について)

平成25年8月期 第2四半期 決算概況資料は、本日(平成25年4月4日)、当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成24年9月1日 至平成25年2月28日）におけるわが国の経済は、領土問題や欧州債務危機などを背景とした海外経済減速や、株安、円高の長期化などの景気の下振れリスクが存在し、先行き不透明な状況が続いております。更に、天候不順による収穫減や金融緩和による資金が商品市場へ流入したことなどによる食糧価格の高騰などは、当社事業活動の主要なマーケットである業務店市場に及ぼす影響については留意が必要な状況です。

しかしながら、年末以降、政権交代による経済政策への期待感などから、為替も円安傾向となり、株式市場も活況を呈すなど景気回復への期待感が高まる状況にあります。

このような状況下、当社グループでは、「成長の足掛かりを掴み取る」という今期の全社方針に基づき、引き続き、財務体質の改善を推進するとともに、事業の更なる強化・拡大に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高33,339百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益4,293百万円（前年同四半期比13.9%減）、経常利益3,350百万円（前年同四半期比25.1%減）、また四半期純利益につきましては2,801百万円（前年同四半期比75.0%増）となりました。

当社グループの各セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む。）及び営業利益は以下のとおりであります。

<音楽配信事業>

音楽配信事業は、創業以来、当社グループ事業の主軸であり、今後においても、その安定的な収益基盤の維持及び強化を図っていく必要があると認識しております。このため、業務店向け・個人向け市場におけるシェア拡大に向けた取り組みとして以下の施策を実施してまいりました。

- ①法人顧客（チェーン店市場）における新たな収益源の構築と顧客数増を目的とした付加価値商材・新サービスなどの提案
- ②生涯収益が高いと見込まれる新規オープン店に対する営業活動への注力
- ③既存顧客に対するフォロー営業やCS向上施策による顧客数減少の抑止と長期利用の促進

更に、新たなマーケットを開拓すべく、本年2月には働く人のメンタルヘルス対策という新たな概念の法人向け新サービス「Sound Design for OFFICE」の提供を開始するなど、これまで以上に事業の強化、拡大に向け取り組んでまいりました。

その結果、音楽配信事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は20,306百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益は4,215百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。

<業務用システム事業>

業務用システム事業においては、ホテル・病院・ゴルフ場などの業務管理システム及び自動精算機の開発、製造、販売などを㈱アルメックス（連結子会社）が行っております。

当該事業においては、顧客の省人化・効率化に寄与する製品・サービスに対する潜在的なニーズは堅調であることから、最近の環境変化を捉え、的確な営業戦略に基づき売上増を図り、利益の最大化に努めてまいりました。

その結果、業務用システム事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は6,860百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益は453百万円（前年同四半期比27.4%減）となりました。

<ICT事業>

ICT事業においては、法人向け回線販売事業やアプリケーションサービス販売事業などを行っております。当該事業においては、各企業におけるクラウド系サービスやデータセンターサービスに対する需要が高まっていることから、クラウド商材の拡充など以下の施策を実施してまいりました。

- ①光回線顧客拡大のための新サービスの開発・投入
- ②顧客ニーズに応えるサービスラインナップの拡充
- ③豊富なサービスラインナップによるオフィス環境改善に向けた提案営業

その結果、ICT事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は4,626百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は276百万円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

<その他事業>

その他事業として、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業などを行っております。

集客支援事業においては、飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」を展開しております。当該事業においては、「ヒトサラ」を競合優位性のあるメディアに育て上げるとともに、事業利益の最大化を目的とした事業基盤強化を推進しております。

本年2月には、グルメサイト「ヒトサラ」内に飲食店の料理人情報を集約した「料理人名鑑」を立ち上げ、従来の店舗情報とは異なる視点からお店とユーザーを結びつける新コンセプトによるサービスの提供を開始しております。

音楽著作権の管理、開発事業は株式会社ユーズミュージックが行っております。当該事業においては、音楽配信事業のより一層の発展に向けた楽曲プロモーション媒体の的確な提案・提供などにより、レコードメーカー顧客との関係の強化に取り組んでまいりました。

その結果、その他事業における当第2四半期連結累計期間における売上高は1,604百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業損失は90百万円（前年同四半期比は83百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,173百万円減少し、70,130百万円（前連結会計年度末比4.3%減）となりました。

（資産）

資産に関しましては、受取手形及び売掛金が620百万円、建物及び構築物が1,387百万円、土地が206百万円、のれんが664百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3,173百万円減少し、70,130百万円（前連結会計年度末比4.3%減）となりました。

（負債）

負債に関しましては、長期借入金が3,135百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ6,081百万円減少し、58,522百万円（前連結会計年度末比9.4%減）となりました。

（純資産）

純資産に関しましては、四半期純利益を2,801百万円計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,907百万円増加し、11,608百万円（前連結会計年度末比33.4%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ111百万円増加の6,003百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の収入は5,479百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益を2,960百万円、減価償却費及びのれん償却額を3,606百万円計上したこと、売上債権の減少が620百万円であったこと等により資金が増加した一方、たな卸資産の増加が445百万円であったこと、仕入債務の減少が413百万円であったこと、前受金の減少が1,003百万円であったこと等により、営業活動による資金の収支が一部減殺されたこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の支出は1,798百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得により資金が1,799百万円減少したこと、有形固定資産の除却により資金が471百万円減少したこと、有形固定資産の売却により資金が186百万円増加したこと、投資有価証券の売却により資金が290百万円増加したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の支出は3,568百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済により資金が3,135百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の業績予想につきましては、平成24年10月12日付「平成24年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において通期の連結業績予想を発表しておりましたが、当第2四半期決算短信及び平成25年4月4日付「業績予想の修正並びに平成25年8月期第2四半期及び期末の配当予想の修正に関するお知らせ」（以下「業績予想の修正」）にて、新たに通期の連結業績予想を開示いたしております。詳細につきましては、「業績予想の修正」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,907	6,015
受取手形及び売掛金	5,283	4,662
商品及び製品	389	596
仕掛品	178	260
原材料及び貯蔵品	1,362	1,519
その他	4,135	3,567
貸倒引当金	△364	△364
流動資産合計	16,892	16,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,752	18,365
土地	24,167	23,961
その他（純額）	2,990	3,243
有形固定資産合計	46,910	45,570
無形固定資産		
のれん	5,021	4,357
その他	2,335	2,023
無形固定資産合計	7,357	6,380
投資その他の資産		
その他	7,578	7,309
貸倒引当金	△5,434	△5,387
投資その他の資産合計	2,143	1,922
固定資産合計	56,412	53,873
資産合計	73,304	70,130
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,169	4,878
1年内返済予定の長期借入金	4,848	5,015
その他	11,582	9,380
流動負債合計	21,600	19,273
固定負債		
長期借入金	37,933	34,631
退職給付引当金	3,068	2,948
資産除去債務	956	765
その他	1,043	902
固定負債合計	43,002	39,248
負債合計	64,603	58,522

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,116	66,116
資本剰余金	62,381	62,381
利益剰余金	△119,189	△116,388
自己株式	△531	△531
株主資本合計	8,776	11,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△75	31
その他の包括利益累計額合計	△75	31
純資産合計	8,700	11,608
負債純資産合計	73,304	70,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
売上高	33,825	33,339
売上原価	14,488	14,234
売上総利益	19,337	19,104
販売費及び一般管理費	14,349	14,810
営業利益	4,987	4,293
営業外収益		
持分法による投資利益	37	—
貸倒引当金戻入額	6	37
その他	108	76
営業外収益合計	152	113
営業外費用		
支払利息	570	503
借入手数料	36	361
その他	62	191
営業外費用合計	669	1,056
経常利益	4,470	3,350
特別利益		
投資有価証券売却益	—	187
その他の引当金戻入額	—	121
その他	42	101
特別利益合計	42	410
特別損失		
固定資産除却損	801	402
減損損失	1,861	391
その他	—	5
特別損失合計	2,663	800
税金等調整前四半期純利益	1,850	2,960
法人税、住民税及び事業税	133	316
法人税等調整額	115	△157
法人税等合計	249	159
少数株主損益調整前四半期純利益	1,600	2,801
四半期純利益	1,600	2,801

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,600	2,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	106
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	3	106
四半期包括利益	1,603	2,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,603	2,907
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,850	2,960
減価償却費	2,960	2,942
減損損失	1,861	391
のれん償却額	740	664
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60	△47
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△154	△120
支払利息	570	503
持分法による投資損益(△は益)	△37	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△187
固定資産除却損	801	402
借入手数料	36	361
売上債権の増減額(△は増加)	△322	620
仕入債務の増減額(△は減少)	△574	△413
前受金の増減額(△は減少)	△1,136	△1,003
たな卸資産の増減額(△は増加)	77	△445
その他	△475	△325
小計	6,135	6,304
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△565	△498
災害損失の支払額	△105	—
法人税等の支払額	△152	△332
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,317	5,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,674	△1,799
有形固定資産の売却による収入	154	186
有形固定資産の除却による支出	△490	△471
投資有価証券の売却による収入	7	290
その他	23	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,979	△1,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△3,631	△3,135
借入手数料の支払額	△36	△361
その他	△106	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,773	△3,568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435	111
現金及び現金同等物の期首残高	6,455	5,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,020	6,003

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	20,670	7,149	4,378	32,198	1,627	33,825	—	33,825
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34	18	0	52	21	74	△74	—
計	20,704	7,167	4,379	32,251	1,648	33,900	△74	33,825
セグメント利益 又は損失(△)	4,633	625	380	5,639	△83	5,556	△568	4,987

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△568百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、売却の意思決定をした保有不動産等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,859百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	音楽配信事業	業務用 システム事業	I C T事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	20,276	6,847	4,625	31,749	1,589	33,339	—	33,339
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30	12	0	43	14	58	△58	—
計	20,306	6,860	4,626	31,792	1,604	33,397	△58	33,339
セグメント利益 又は損失 (△)	4,215	453	276	4,945	△90	4,854	△561	4,293

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、既存業務店顧客の集客を支援する集客支援事業や音楽著作権の管理、開発事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△561百万円は、セグメント間取引消去等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「その他」において、将来収益が見込めなくなった保有不動産等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては391百万円であります。